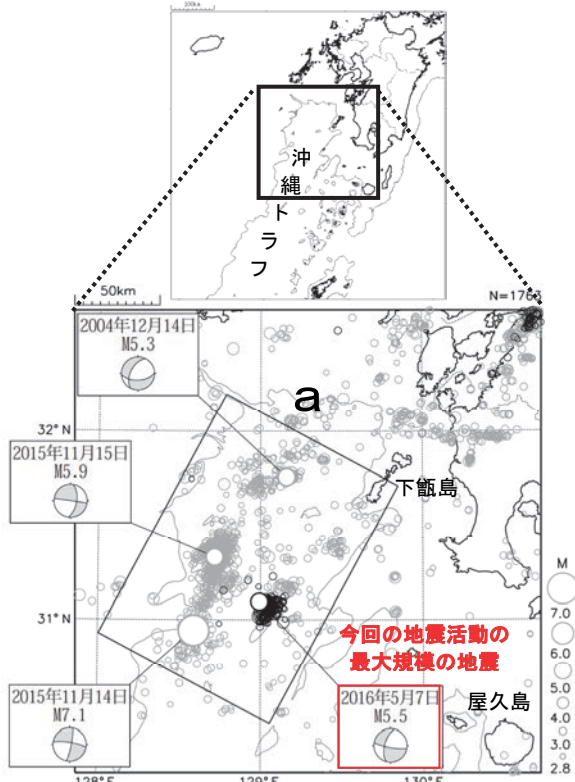


薩摩半島西方沖の地震活動

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2016 年 5 月 31 日、
深さ 0～30km、 $M \geq 2.8$)

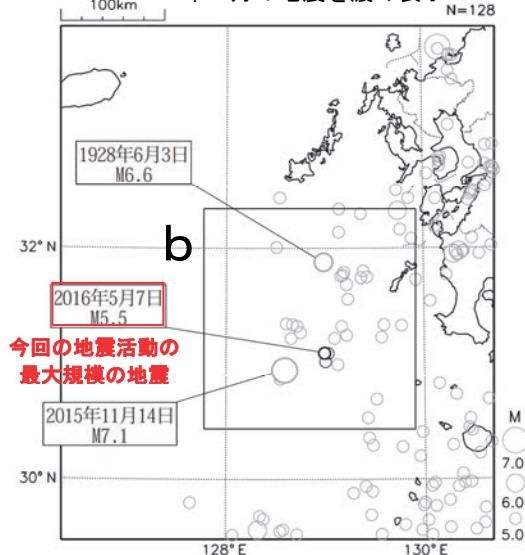
2016 年 5 月の地震を濃く表示、図中の発震機構解は CMT 解、図中の細線は水深 500m を示す



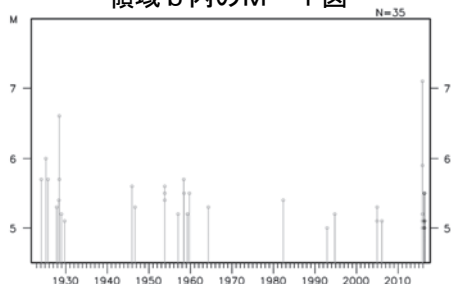
震央分布図

(1923 年 1 月 1 日～2016 年 5 月 31 日、
深さ 0～90km、 $M \geq 5.0$)

2016 年 5 月の地震を濃く表示



領域 b 内の M-T 図



2016 年 5 月 6 日から薩摩半島西方沖で地震活動がやや活発となり、5 月 31 日までに最大震度 1 以上を観測した地震が 14 回（最大震度 2：10 回、最大震度 1：4 回）発生した。これらの地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。最大規模の地震は、5 月 7 日 14 時 42 分に発生した M5.5 の地震（最大震度 2）である。この地震は、発震機構（CMT 解）が北北西-南南東方向に張力軸をもつ横ずれ断層型である。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺（領域 a）では、M4.0 以上の地震が時々発生している。2015 年 11 月 14 日には M7.1 の地震（最大震度 4）が発生し、鹿児島県の中之島（海上保安庁）で 30cm の津波を観測した。

1923 年 1 月以降の活動をみると、今回の地震活動周辺（領域 b）では、1928 年 6 月 3 日に M6.6 の地震（最大震度 5）が発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

